令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	神奈川県中井町
間接助成団体	さとまちのみりょく
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ創設支援事業
事業名	中井町総合型地域スポーツクラブ創設支援事業
助成金額	739,000 円

■調査内容

令和６年度総合型地域スポーツクラブ活動助成（創設支援事業）で神奈川県中井町の間接助成団体である「さとまちのみりょく」が行っている「中井町総合型地域スポーツクラブ創設支援事業」の実施状況について調査を行いました。

さとまちのみりょくは令和７年度の総合型クラブ設立を目指し、ソフトテニスを中心に６種目（ソフトテニス、スポーツラボ、バドミントン、ダブルダッチ、ソフト・バルーンバレー）の教室を実施しています。

調査当日は県のクラブアドバイザー同席のもと、中井町とクラブから設立準備状況や活動状況のヒアリングを行い、その後ソフトテニス教室を視察しました。ソフトテニス教室は小学生６名の参加者がおり、参加者のレベルアップを目的としたクラブ独自の検定に積極的に参加する様子が見られました。

クラブが抱える課題として、クラブ設立・運営のための安定的な収入の一助となる大人会員の獲得が挙げられていました。クラブは創設段階ではあるものの、大人２名・子ども１５名の会員がおり、現在は子どもをターゲットとした種目が多いことから、送迎を行う親世代が参加できるような新規教室を検討しているとのことです。

■助成の意義

設立準備委員会の立ち上げ当初は資金の確保に苦労し、用具の購入や施設利用料のやりくりが大変だったそうですが、くじ助成を受け、用具の購入や施設使用料に充てられる費用が増えたことで、スタッフ謝金もまかなうことができたそうです。また、地域での認知度を高めるために、これまでも季節ごとの文化的なイベントを実施してきたそうですが、今後は新規会員獲得に向けたスポーツイベントも行い、より安定的なクラブ運営を目指しているとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

広報活動については、口コミが広まりやすい地域特性を活かし、リピーター獲得のため参加者アンケートの結果を反映させながら満足度向上に努めているそうです。

指導者等の人材確保については、近隣地域の協会やスポーツクラブと連携することで、多様な種目の指導者が相互協力できる体制を作る工夫をしているそうです。また、活動場所については、利用頻度の少ない時間帯に公共施設を利用することで他団体との重複を避け、教室を実施してい

るとのことです。

■その他

今後の展望として、部活動の地域移行の受け皿となることも視野に入れているそうです。

また、子どもたちが様々な種目に触れる機会を作ることで、何が好きなのか自分自身で見つけ、いずれは競技スポーツにスキルアップできる体制も充実させていきたいとのことです。

さらに、地元企業や飲食店等との提携店制度を作り、地域交流のきっかけや、スポーツクラブを通した地域の活性化につなげられるよう考えているとのことです。

■所感

今回調査したさとまちのみりょくはクラブ創設の段階ではありますが、ソフトテニス教室を中心に毎月定期的なスポーツ教室の実施ができていました。

事務局の人手不足から、会計・事務的な体制を整える必要はありますが、町の担当者や県のクラブアドバイザーとの協力関係も活かしつつ、助成金を有効活用していただければと思います。また、今後はクラブの設立や安定的な運営のため、各教室に有償の指導者を配置することで、さらなる内容の充実や会員の増加を図り、総合型クラブとして発展していくことを期待しています。

（令和 6 年 8 月 23 日往査）

（写真）ソフトテニス教室の様子	
	